

【八代地区】

市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年11月26日（火） 18:30～19:50
- 2 場所 鶴いこいの里交流センター
- 3 参加者数 14名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎
副市長 青木 龍一
企画総務部長 住田 英昭
行政改革推進室長 久村 信幸
- 5 会議録

（八代 - 01：保育園の設置）

Q) 八代幼稚園が平成26年度より休園になるが、さまざまな事情により、八代地区に子どもが増えているので、保育園の設置を検討しては。

市長) 平成26年度に子ども・子育て支援事業計画の策定が義務付けられている。この計画の策定に合わせて、将来的な保育需要や保育所・幼稚園再編の動き、国の動きも踏まえながら考えたい。

（八代 - 02：子どもが増える施策）

Q) 中山間地域は、子どもが増えれば活気が出てくると思う。似たような環境にある隣の中須地区と連携して、子どもの数を増やす良い施策はないか。

市長) 各コミュニティにおいて、地域の方に色々な活動をしていただいている。地域同士の支え合い、競い合いの中で、八代地域と中須地域が連携する動きを、地域からも出してほしい。

（八代 - 03：野鶴監視所の整備）

Q) 野鶴監視所は和式トイレしかなく不便。洋式トイレを整備してほしい。

市長) 公共トイレは、高齢者や女性の方が和式でお困りという報告をよく受ける。要望があることを受け止めたい。

（八代 - 04：県道の整備）

Q) 県道温見八代線の整備が進んでいない。再度、県に要望してほしい。

市長) 見通しの悪いところや離合場所の整備を検討している。徳山光線は、毎年2,000万円程度予算で対応している。引き続き県に早期完成を要望する。

(八代 - 05 : 市道の整備)

Q) 市道須野河内新畑線 (ライスセンターから県道瀬越下松交差点) が傷んでいるため整備してほしい。

市長) 担当に現場を確認させる。

【道路課】

舗装は、年次的に舗装打替えを計画し、平成26年度は380mの工事を予定。また、路面の穴等は、随時、補修対応に努めている。

(八代 - 06 : もやいネットセンター)

Q) 3年の計画とのことだが、良い事業なので、ペースダウンせずに続けてほしい。

市長) 八代地区では、地区ステーションが1月からスタートでき、大変うれしく思っている。もやいネットセンターの取り組みは、孤独死・孤立死を防ぐという私の強い思いもあるため、ペースダウンせずに、皆さんと一緒に行っていきたい。

(八代 - 07 : 友愛便)

Q) 担当より来年度からの助成は難しいと言われた。利用者も増えているので、是非、継続してほしい。

市長) 八代地区の自助・共助への取り組みはすばらしい。友愛便の利用者は増えているため、担当がどのような考えでそのようにお伝えしたのか確認する。頑張る地域は引き続き支援する。

【生活安全課】

友愛便は実証実験として運行しているため、その利用状況を検証した上で、地区の実情に合った持続可能な生活交通の確保に取り組みたいと考えている。

(八代 - 08 : 新庁舎の想定規模)

Q) 新庁舎は、元々の合併構想である下松や光等を含めた人口25万人を将来的に想定しての計画か。また、新庁舎建設に合わせて、中山間地域へ農林課を設置してはどうか。

市長) 現在の15万人の周南市民の幸せ・安心安全を守ることを念頭に新庁舎を検討している。また、各分野に企画部門と現業部門があり、農林関係の企画をする部分は、本庁の中で他部署と関わりながら業務を行うのが良いと考える。現業部門をどの場所に配置するかはこれからの課題。

要約一覧

八代地区

管理 NO	内容	担当		質問	回答
八代-01	保育園の設置	こども家庭課		八代地区に子どもが増えているので、保育園の設置を検討してはどうか。	子ども・子育て支援事業計画の策定に合わせて、将来的な保育需要や保育所・幼稚園再編の動き、国の動きも踏まえながら考えたい。
八代-02	子どもが増える施策	コミュニティ推進課	こども家庭課	中須地区と連携して、子どもの数を増やす良い施策はないか。	地域同士の支え合い、競い合いの中で、八代地域と中須地域が連携する動きを、地域からも出してほしい。
八代-03	野鶴監視所の整備	生涯学習課		野鶴監視所に洋式トイレを整備してほしい。	要望として受け止めたい。
八代-04	県道の整備	道路課		県道温見八代線の整備が進んでいない。再度、県に要望してほしい。	引き続き県に要望する。
八代-05	市道の整備	道路課		市道上須河内線の補修整備をしてほしい。	担当に現場を確認させる。 【後日、担当課回答】 舗装は、年次的に舗装打替えを計画し、平成26年度は380mの工事を予定。また、路面の穴等は、随時、補修対応に努めている。
八代-06	もやいネットセンター	高齢者支援課		もやいネットセンターは、3年計画とのことだが、ペースダウンせずに続けてほしい。	ペースダウンせずに、皆さんと一緒に実施していきたい。
八代-07	友愛便	生活安全課		友愛便は、来年度からの助成が難しいと聞いている。利用者も増えているので、継続してほしい。	担当に確認する。 【後日、担当課回答】 友愛便は実証実験として運行しているため、その利用状況を検証したうえで、地区の実情に合った持続可能な生活交通の確保に取り組みたいと考えている。

管理 NO	内容	担当		質問	回答
八代-08	新庁舎の想定規模	総務課	農林課	新庁舎は、元々の合併構想である下松や光等を含めた人口25万人を想定した計画か。また、中山間地域へ農林課を設置してはどうか。	現在の15万人の周南市民の幸せ・安心安全を守ることを念頭に新庁舎を検討している。農林関係の企画部門は、本庁での業務が良いと考えるが、現業部門についてはこれからの課題。